

# 南会津町の湿原を守る会だより

第9号

●平成26年度も、各会員は得意分野で活躍していました。学校への出前講座ではわかりやすく説明し、現地での散策に役立てていました。講座では、児童らにリーフレットを無料で提供しました。散策にも活用していました。

●今年発足した駒止高原癒しの森づくり交流促進事業への協力では、各自がブナ植樹への準備・土壌の研修・昆虫などの観察と、自分に合った部門で協力・研修しました。ブナ苗採取では、植樹への準備として、千本以上の苗を針生地区の畑に移植できました。

●駒止湿原保護協議会が行う木道補修や農道の外来植物除去にも多くの会員が参加し協力しました。暑い中お疲れ様でした。

●26年度の散策研修は尾瀬でした。沼山峠駐車場から尾瀬沼まで、およそ一時間、全て木道で楽しく歩きました。整備の素晴らしさに驚きました。山道の花や数年に一度と言うワタスゲの群生に歓声をあげ観察できました。また、湿原の周りは、シカが湿原に入らないようにフェンスが巡らされた現状も観察してきました。環境への対応の難しさも感じた研修でした。

## 湿原開きは五月第二日曜日

駒止湿原は2年まえから5月の第3日曜日が山開きとなりました。湿原には小さなミズバショウやワタスゲの花を見ることが出来ました。双苞ミズバショウも発見。写真は山開きから2日後



5月20日

## 出前講座



### 出前講座で散策前授業

田島第二小学校にて植物の他、昆虫についても楽しく授業。

### 案内の会さんと連携

講座の後は現地散策。案内は駒止湿原案内の会さん



ワタスゲは毎年6/15～6月末日頃が見頃 写真:6月17日

## 木道補修



7月28日



50枚の「すのこ」を腐食した部分へ敷き、固定。歩きやすく、事故防止にも



6月15日、宮床



南郷高清水公園のひめさゆり 6月20日過ぎ

宮床湿原散策(事務局参加) 6月、昨年続き、南郷のひめさゆりウォークに参加。南郷スキー場斜面には、ひめさゆりが植えられ満開。最後のコースが宮床湿原。水たまりを良く見ると、期待通り、今年も居ました! 「ハッチョウトンボ」。

## 尾瀬散策 & 研修



尾瀬へ 7月14日 会員でもある君島さんが案内役。植物は勿論、周辺の地形なども解説。整備された木道で歩きやすい。湿原入口の金属の橋は、シカが入りにくく工夫した

## 外来植物除去作業



開拓農道 種が落ちないように、花から丁寧に除去。ヒメジオン、ヘラオオバコ、ブタクサ、ブタナを中心に除去。

木道補修・除去作業は保護協議会よりの要請で町内の会員へ協力を依頼した。



10月16日 駒止湿原ニホンジカ対策検討会へ出席。(教育委員会主催)  
写真右: 食害 左: 2014年8月シカ確認  
◆対策はやはり個体を減らす事

26年度も、会員が楽しんで参加できる企画や、保全のためのボランティアなど、多くの事業がありました。皆さんが会員として活動する姿や、関係する会や地域と連携し、更に活躍する姿に頼もしさを感じました。今後も取材し、記録していきます。ぜひ散策など参加して下さい。また関連する活動などの情報もお待ちしています。

平成27年3月(2015年3月)事務局



## 苗採取、移植

28年度の補植に向けて、谷本宇都宮大学名誉教授と土壌について学習し、ブナ苗を採取。畑へ移植 2回実施  
主催: 駒止高原癒しの森交流促進事業